

科目	材料力学II (Strength of Material II)		
担当教員	西田 真之 教授		
対象学年等	機械工学科・4年D組・後期・必修・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	A4-M1(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	3年次の材料力学, 4年前期の材料力学Iを基礎として, 組み合わせ応力および座屈現象について講義する. 本講義では演習問題を多く解くことにより, 材料力学における基礎的知識の理解を深めるとともに解析力の充実を図る.		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-M1】 組み合わせ応力を理解し, 基礎的問題が解ける.		組み合わせ応力に対する理解度を中間試験, 定期試験およびレポートで評価する.
2	【A4-M1】 座屈現象の意味を理解し, 基礎的問題が解ける.		座屈現象に対する理解度を定期試験およびレポートで評価する.
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, 試験85% レポート15% として評価する. 試験点は中間試験と定期試験を平均する. 100点満点で60点以上を合格とする.		
テキスト	「材料力学」, 黒木剛司郎著(森北出版)		
参考書	「材料力学演習」, 村上敬宜・森和也 共著(森北出版) 「SIによる材料力学演習」, 関谷壮著(森北出版)		
関連科目	材料力学(3年), 材料力学I(4年), 材料力学特論(5年), 弾性力学(専攻科1年)		
履修上の注意事項	授業中の演習はレポートとして提出して評価することがある.		

